

# 会 議 報 告 書

1 会議名	令和4年度第1回北上市子ども・子育て会議		
2 日 時	令和4年7月27日（水） 午後3時から4時35分まで	3 場 所	北上市保健・子育て支援複合施設 h o K k o 1階 ふれあいホール3
4 出席者	<b>【委 員】</b> 13名（別紙名簿のとおり） <b>【事務局】</b> 5名（市長、健康子ども部長、子育て支援課長、課長補佐、保育係長） <b>【傍聴者】</b> 1名		
<p>会議に先立ち、新たに委嘱した委員2名に市長から委嘱状を交付した。</p> <p><b>【内 容】</b></p> <p>1 開 会</p> <p>2 挨拶（北上市長）（会長）</p> <p>3 報 告（会長進行）</p> <p>4 その他</p> <p>○ 委員15名中13名の出席、過半数の出席があり本会議が成立すること報告。</p> <p>○ 報 告</p> <p>(1) 第2期北上市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について（令和3年度末現在）</p> <p><b>【説明の要旨】</b></p> <p>第2期北上市子ども・子育て支援事業計画に記載されている基本目標1～4の67事業及び基本目標5の16事業の実施状況について、資料に沿って主な項目について報告した。 <b>【資料1】</b></p> <p><b>【質疑、意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標5の2頁民生委員・児童委員との連携強化の成果及び今後の課題等に研修会開催とあるが、自分が参加した児童家庭係長による説明のあった研修か？⇒はい</li> <li>主任児童委員連絡会の会則に主任児童委員の立場が明記されていない。⇒地域福祉課に確認し後日回答する。（7/28地域福祉課に確認。担当課でも把握していて、北上市民生委員児童委員協議会の会則に主任児童委員が明記されていないことについては、検討している。）</li> <li>・「市町村間で対象が異なり格差が生じている」の記載が何件かあるが、子育て支援で使える予算の割合は他市に比べてどうか⇒確認のうえ後で情報提供する。 （別紙：「15歳未満人口1人あたり児童福祉費」を後日提供）</li> <li>・通学路の整備事業についてマッチング割合とは？ ⇒要望件数に対する整備件数とあるが詳細は確認のうえ後日回答する。 （学校教育課に確認 学校から要望をうけ、全件、関係機関と現地調査。工事だけでなく地域の見守り、学校での児童への指導等実施し、全件対応しているもの）</li> </ul> <p>(2) 第2期北上市子ども・子育て支援事業計画の中間年見直しの方向性について</p> <p><b>【説明の要旨】</b></p> <p>第2期計画策定時と状況が変化し現状を踏まえた見直しを行う。資料に沿って、出生数の減少、待機児童が現在ゼロに、私立保育所等の定員増、見直しの方向性、今年度に公立保育園の定員削減することについて説明。<b>【資料2-1】</b> また、現状の利用児童数と事業計画数についても説明。 <b>【資料2-2】</b></p>			

## 【質疑、意見】

- ・今回実施するのは公立園の削減のみか

⇒はい。民間園での定数減の相談もいくつかいただいているので、次回以降あわせて提示予定。

## 【その他委員から】

- ・更木幼稚園は、更木の出生数が少なく、入る人が少ない。更木地区以外からも入ってもらっているが先生方が苦勞していると聞いている。
- ・4月から父親のためのコミュニティを北上市で立ち上げ月1回開催。男性も主体的に取り組むのが普通な世の中になったほうがいい。同じように積極的に取り組みたい父親が集まり、ワークライフバランスを見直していきたい。7月読み聞かせ講座、8/20、21に料理教室を予定している。
- ・ファミリーサポートセンターのマッチング100%と多様なニーズに対応できていないとあるが。  
⇒マッチングは100%だが、急な対応ができない、送迎できる預かり会員さんが少ないなど多様なニーズに応えきれていない部分がある。
- ・一時預かり保育について、利用者は増加したとあるが、使いたい人が使えているのか。以前自分が使いたいと思ったときに事前登録が必要で1か月前に予約が埋まっていて使えなかった。今はわからないが、待機児童は減っているが一時保育など突発的な時に使いたい時に使えるようになっていないなら、これからなってほしい。  
⇒事前登録は必要。現在、利用箇所が増え、令和2年度まではときわだい保育園1か所だったが、令和3年度開所したh o k k oの一時保育室も多く利用していただき、実施園が増え、利用できる数が増え、利用したくてもできない方は減っていると捉えている。今後もニーズに応えていけるように施設数の維持、拡充に努める。
- ・学生が市内で就職できればと考えている。最近の求人は障がい児対応、放課後デイ等増えており、いろいろな形で市とかかわっていききたい。
- ・小中学校の行事が最近少しずつできるようになり、いきいきとした子どもたちの姿がみられるようになった。今後も実施できるようになってほしい。
- ・稲瀬地区の横断歩道を要望したが、管轄が警察とのことで、「報告を上げる」で終わっている。大勢が通るわけでもないが、ほかの地域でもあると思うが、どのように要望していけばよいか。  
⇒通学路は学校がとりまとめ、教育委員会、道路環境課、警察が一体となって協議している。安全対策、危険箇所確認している。  
(学校教育課確認 通学路の整備について、学校から要望のある全部の箇所を北上警察署、学校教育課、学校(副校長又は指導教諭等)、道路担当(市道路環境課、県道・国道の場合は県・国の担当)が現地を点検する。その後優先順位を決めて予算の範囲内で整備している。整備のほか、地域の見守り、学校での児童への指導等実施。工事実施箇所については、改めて通知はしていないが、現地点検の際学校も同席している。)
- ・中間年見直しについて、大きな問題と思っている。2月にしっかりと議論していきたい。私立保育所はやっていけなくなれば死活問題。
- ・コロナ禍でこどもの数が減少。幼保小連携は実際ほとんど出来ていない。幼保小かけはしプログラムも長い間見直しされていないと感じている。学区によって取り組みに差が出ている。そこを進めていただければいいと思う。保育士確保事業に取り組んでいただきありがたい。保育士は勤務時間8時間で、保育教育の時間は12時間。決められた保育士数のなかで父母の休みの

部分も含めて保障するのはかなり大変なことだと勤務表を組みながら感じるが、人材確保ができてこの予算をどこから持ってくればよいか、各園たくさんの保育士がいるわけではない中で精一杯やっていることを鑑みたような対策を盛り込まれるとありがたい。質のいい保育・教育をできるように。

幼保小連携は以前のようにみんなで集まる機会がなく、わかりにくさを感じる。

- ・10代以下の感染が多く、子が感染や濃厚接触者で勤務できなかつたりしている。賃金も上がっていない。教育関係も御苦労されている。親として経済を回しながら感染対策をしっかりと行っていく。
- ・北上市はものづくりのまち。若者を北上に定住させる。2年に1回テクノメッセを今年開催し小中高3000人参加予定。地元の企業をみて就職したいという気持ちを育てるのが理想。子どもが少ないのが問題。人口や子どもたちが増え健全な環境で育っていただきたい。事業所も働き方をバックアップしていかなければならない。
- ・20年前自分が子育てをしていた時期より幼稚園保育園も多く、市の補助も手厚い。公立幼稚園の定員割れが気になった。保育士の働き方、保育士を増やす補助など市の政策が必要。花巻・金ヶ崎から工業団地に通う人がいるが住みやすいまちにするためいろいろな意見が出せたらいいと思う。
- ・笠小の見回り、登下校の見守り時、歩道にけもの（いのしし、クマ、しか）がでる。子どもたちの安心安全のため活動していく。学校に来てよかったと思う体験をさせてほしい。ケース会議に呼ばれていくが、この子をどうすればいい、どうしたいか。希望と不安を抱きながらやっている。
- ・少子化に歯止めかからない。少子化対策しているが、効き目がないのはなぜなのか、考えなければならぬ。少子化が様々なところに影響が出ている。北上市として魅力的なまちづくりをして定住者を増やしていくなど、地域によっては真剣に考えている地域もある。北上市も取り組んでいく必要がある。

幼保小連携は今までの方向性は間違っていると思う。県は幼児教育センターを設置。接続期の幼稚園から小学校が人生において大切な時期。市でも具体的にどう足を踏み入れていくか。県教委の意見を聞きながら、幼保小連携はしっかり取り組んでいく必要がある。

・(部長から)

定員問題について。以前、北上市は他市に比べて出生数は落ち込んでいなかった。企業が入ってきて北上市に住み出生数維持してきた。リーマンショック以降企業の進出が一時期ストップし受け皿がなくなったが、昨今、キオクシアさんやTDKさんが増やしていく影響を考えていかなければならない。出生数が減ってきて、転入者の受け皿がなくならないように。引っ越してきた方が利用されているケースも多い。他市に比べて違うところ。北上市の魅力を高めないで住んでいただけない。魅力あるまちづくりを考えていかなければならないと考えている。こども家庭庁でき、児童福祉法の一部改正、子ども基本法ができた。そのなかで、こどもの権利を守る。こどもは自分がどうしたいか話せない。障がいのあるお子さんについてもひとつのなかで一緒に見ていくインクルーシブを前面に出ている。どのように実現していくのかこれからの大きな課題。保育士の働き方を考えていかなければならない。市もスマホ利用するなど働き方改革を模索している。国の補助等活用しながら処遇改善を進めていきたい。

○ その他

今回は10月、2月の開催を予定している。